

平成26年度 第3回

流山市地域包括支援センター及び地域密着サービス運営協議会 議事録 要旨

開催日時 平成26年9月18日(木) 13時30分から14時30分
開催場所 流山市水道局
出席者 越智委員、大津委員、渡部委員、池上委員、岩井委員、大久保委員、
黒田委員、稲田委員、鈴木(美)委員
出席9名、欠席7名
傍聴者 なし

議題(1) 地域密着型サービス事業者の指定更新について

(資料1-1、1-2、1-3、1-4)

<会長>今までは新規申請時に事業所から概要説明をしていましたが、更新申請時にも事業所から概要説明、質問、意見を直接いただくことにしました。

<事務局からの説明>

グループホームわたしの家、認知症対応型通所介護事業所デイサービスセンターわたしの家が平成26年9月末で有効期間満了となります。8月22日付で指定更新の申請書の提出がありました。

申請書類と現地にてヒアリングを9月3日に実施し、両事業所とも基準を満たしていることを確認しました。

現在、グループホームは15人定員で満床。認知症対応型通所介護事業所(デイサービス)の定員は7名です。

本日、グループホーム 金子管理者、デイサービスセンター 大角管理者をお呼びしています。

【運営方針を大角ホーム長(デイサービス管理者)より説明】

オープンして13年経過しました。尊厳、信頼、安心を掲げています。今後も変わりなく推進していきたいと思えます。グループホームらしい色々な共同生活を営んできましたが、加齢と認知症の進行により利用者も変わっていきます。新規の入所者が入ってくると、ここは自分たちの来るところではないといわれることもあり、重い人しか入ってこない印象があり、今後不安もあります。

(グループホーム管理者) 認知症の進行については対応できますが、身体的な低下があり、特養希望の方が入れずにグループホームで生活している方が増えて困っている現状があります。90歳以上の方が数人います。その対応をどうしようか考えています。

(ホーム長) 認知症対応型デイサービスについては市内2か所あります。市内にデイサービス事業者が増加しています。定員は7名ですが、週3~4人のことが多い。平均延べ人数3.3人で赤字続きであり、課題です。独居の方が2人いて、自宅で内服もできない、食事や着替えはどうしているかなど心配がつきません。増えても入院などで入れ替わりがあり、人数が増えない現状があり、運営面で心配しています。在宅を進めるにはケアマネや近隣者の協力等もっと進めるべきではないかと考えています。そういうものがないと独居は難しいと感じさせられています。

(委員) 平均介護度は？

(管理者) グループホーム要介護が3.8 介護5が6人 介護1なし。介護4が多い。

(委員) 一度指定すると6年、持ちこたえられるのか、認知症にこだわらなければ人はくるのではと思うが、考えたことあるか。

(ホーム長) 考えたことはあるが、一般的なデイサービスでは認知症者は置いてけぼりになったりします。一般のデイではできないこと、毎日の散歩や職員のかかわり、いつも話かけてあげる、温かい雰囲気の中かで介護をしています。認知症ではない方が入ってきたら一緒にできないと思います。通うのが無理となるまで協力しようと思い一生懸命職員もやっています。ダメであれば、ここを閉めるしかないと思っています。

(委員) 事業所が増え同業者間の利用者の取り合いというようなこととも、捉えられているでしょうか？

(ホーム長) たしかにデイサービスが増えており、職員からそういった意見もあり、どうしていったら良いかと思っています。

(委員) 認知症に対して信念を持ってやっておられるかと思っています。認知症に対する家族の認識を深めることが大切ではないでしょうか。流山では認知症デイサービスが自然消滅している感じもあります。認知症に対する理解を深めることは必要なことではないかと思いますが、一般の方の認知症の認識はどのようですか。

(委員) 利用者を施設に誘導するのはケアマネジャーの仕事。ケアマネがなぜ「わたしの家」を紹介しないのか。効率が悪いのではないかと思います。「効率」に立ち向かうエネルギー相当必要だと思っています。つらい状況であることはわかります。

(委員) 流山ゆうあいネットの代表として発言します。 居宅・訪問介護・グループホーム、たすけあいの活動も行っています。デイサービスはマイナスですが、ほかの事業では頑張っている法人であるのでご理解いただけたらと思う。

(委員) 現場の方に同情します。このような施設を利用しない風潮がありますか。

(ホーム長) 何人かのケアマネジャーさんはこのデイサービスの良さを理解して紹介してくれています。見学時に認知症が進んだ方、徘徊が激しい方がいると家族が避ける

場合もあります。楽しそうに歌ったり、ゲームしたり、良かったという家族もおり、そのような方は長続きします。認知症が進んだ方を、家族がどのように思うのか踏まえていかなくてはと思っています。

(委員) 営業力が必要だと思います。市民のために良い施設が残れるようにぜひ頑張っていたいただきたい。グループホームとデイサービスの組み合わせを生かしてほしいです。

(ホーム長) よい営業の案がありましたら教えていただきたい。今後も頑張りますのでよろしくお願いします。

(委員) 家族が来て家族が拒否される、断る際に何を理由に断るのでしょうか？

(ホーム長) 何件か見学されていますし、御本人と家族のご意向で選ばれると思います。

庭は広いが部屋が狭い。隠れ部屋がない。ウロウロしたり、奇声上げる方もいますので、家族が見学の際は苦慮しています。

(委員) 心機一転頑張ってください。

(会長) わたしの子の利用者は、使うと長く使う印象がありますので、今時点での利用だけでなく、長い先で利用することを御本人や家族に考えていただければと思っています。

この件については以上でよろしいですね。

(事務局) 今回から更新について書類審査のみでなく、事業者に来ていただきました。意見を踏まえて事業者更新を市で決定させていただきます。地域密着サービスの多くのご意見をいただき、今後は管理・監督・育成責任もありますので、ご助言いただきながら政策づくりにまい進していきたいと思っています。

(2) 介護予防支援に係るケアマネジメント業務の委託事業所の承認について

(資料2、資料3)

①ケアプラン幸

②ケアーズ訪問看護ステーション江戸川台居宅介護支援事業所

③エスケアステーション松戸居宅介護支援

④ケアプランセンターmy sigミーシグ

(事務局) ①・④については要支援者の増加に備えて業務委託の申し出があったものです。②・③については要支援認定を受けた被保険者の家族がすでに②③の事業所の介護支援専門員の支援を受けており、被保険者の希望があったことから、それぞれ委託したいと包括支援センターから申し出があったものです。

今回の運営協議会の意見を反映し、9月25日を目途に指定の手続きを進める予定です。

(委員) 報告をは了解しました。

(事務局) ①④についてですが、北部包括支援センターは専任の要支援のプランを立てる職員がおらずプランを立てる数が限られてしまうため、今後増えるであろうケースに対応したいと委託の希望があったものです。両事業所とも予防支援の実績はあります。

(3) その他

次回の協議会は10月中旬を予定しています。詳細については後日連絡させていただきます。